



向陵広場

発行号 第11号
 発行日 平成 29 年3月 16 日(木)
 発行元 向陵編集校友会
 責任者 伊藤有司 (県 10 回卒)

第33回全国高等学校野球選手権愛知大会決勝戦ウイニングボール



ウイニングボール額の裏面の説明書

昭和 26 年(1951 年)7月 29 日

愛知県大会(参加校63校)決勝戦 鳴海球場対戦相手は愛知高校9回表1アウト走者二塁のピンチ(このとき5×4でリード)

二塁手は河合楯夫選手、一打同点いや逆転されそう。二塁手はあらかじめ牽制のため二塁キャンパス寄り、そこへ打者の打球がライナーで飛んでくる。あわやセンター前のヒットかと!!これを好捕して、遊撃手にトス、ダブルプレーとなり試合終了。『優勝』

第33回全国高等学校野球選手権大会出場!!

愛知大会予選の試合結果

1回戦 豊橋商 5×1 一常滑
 4回戦 豊橋商 6×0 新城

2回戦 豊橋商 7×0 小牧
 準決勝 豊橋商 2×1 時習館

3回戦 豊橋商 3×1 津島
 決勝戦 豊橋商 5×4 愛知

第33回全国高等学校野球選手権大会(開幕.昭和 26 年8月 12 日)



一回戦不戦勝 二回戦 都島工(大阪) 000300000 3
 豊橋商(愛知) 200000000 2

本塁打 今泉、二塁打 田中文、渡辺

全員野球で奮闘し、果敢に攻めた試合でした。残念、甲子園に来てから、浅井、西の打撃ホームを改造され悩む、なかなかタイミングが合わず苦勞のスイングが惜まれる。

祝砲、今泉の打球が左翼のポールに当たり外野の芝生に落下一瞬プレー中断、四審判審議本塁打となる。ベブルースの記念の日で、ベブル盃受賞。珍プレー、今泉の打球ショートゴロ一塁悪送球、一塁から二塁へ、一塁の時河合コーチが今泉に触れたと相手のアピールでアウトされる。手痛い失敗でした。

今泉が頭にデットボールを受け(ヘルメット着用無しの時代)即入院、主力打者もなく「痛恨の痛み」でした。甲子園から二人の監督が入り、選手の申し出に意見が合わず愛知県大会の監督は気心が分かっているのでバンドで行けのサイン。後方は回が若いから

打っていけと意見が分かれ、正攻法をと

らず結果は出ず精一杯全力で戦ったから悔いはない。この経験を元に未来に生かしたい。

(豊商の群像Ⅲ向陵の人々①より抜粋)



ホームラン賞 (第1回 今泉(豊城)五念氏 提供)

←ホームラン賞
 ←全国高等学校野球選手権に出場した選手